

## 2018年1～3月期GDP統計予測

### —9四半期ぶりのマイナス成長ながら、過度な懸念は不要—

(1) 2018年1～3月期の実質GDPは、前期比年率▲0.4%（前期比▲0.1%）と、9四半期ぶりのマイナス成長となった見込み（図表1）。生鮮食品価格の上昇、悪天候によるレジャー支出減、貸家建設のピーク越え、アジア向け電子デバイス需要の下振れなど、様々なマイナス要因が集中したことが要因。

①個人消費（前期比年率+0.2%、前期比+0.0%）

2四半期連続のプラスとなったものの、ほぼ横ばい。食料品等の価格上昇で実質所得のマイナス幅が拡大したほか（図表2）、株価下落などにより消費者マインドが悪化。大雪等の悪天候もマイナスに作用。

②設備投資（前期比年率+0.8%、前期比+0.2%）

6四半期連続の増加。都心部での再開発や、工場新設などの建設投資が堅調に推移。もつとも、機械投資は伸び悩んだことから、プラス幅は縮小。

③住宅投資（前期比年率▲12.2%ポイント、前期比▲3.2%ポイント）

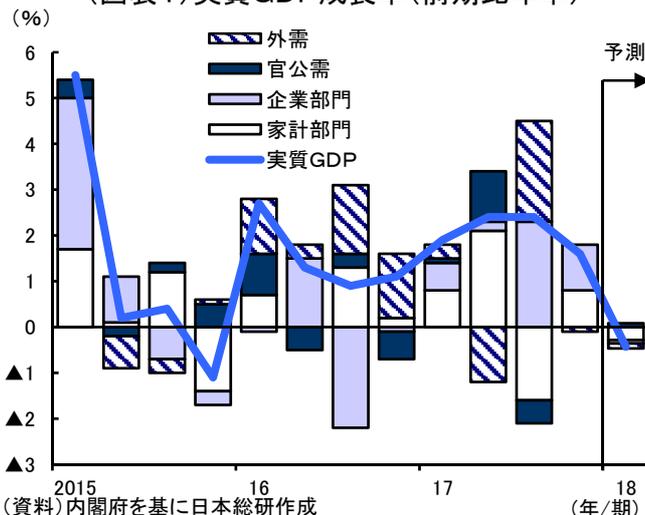
3四半期連続で減少。相続税対策の一服や金融機関の貸出態度の慎重化などを背景に貸家が減少したほか、分譲も大幅減少。1月の悪天候が一時的なマイナス要因として働いた側面も。

④外需（前期比年率寄与度▲0.1%ポイント、前期比寄与度▲0.0%ポイント）

輸出は前期比年率▲1.0%と、3四半期ぶりに減少。世界的な設備投資意欲の改善を背景に資本財は堅調に推移したものの、アジア向けの電子部品が落ち込み。輸入も同▲0.4%の減少。輸出の減少幅が輸入を上回ったことから、外需のGDP寄与は2四半期連続のマイナスに。

(2) 1～3月期は、様々な下振れ要因が顕在化したものの、家計の所得環境、企業の収益環境、世界景気はいずれも回復基調が崩れていないため、マイナス成長は一時的な下振れと判断。4～6月期以降、個人消費・設備投資・輸出にけん引されて、緩やかな回復基調に復帰する見通し。

(図表1) 実質GDP成長率(前期比年率)



(資料) 内閣府を基に日本総研作成

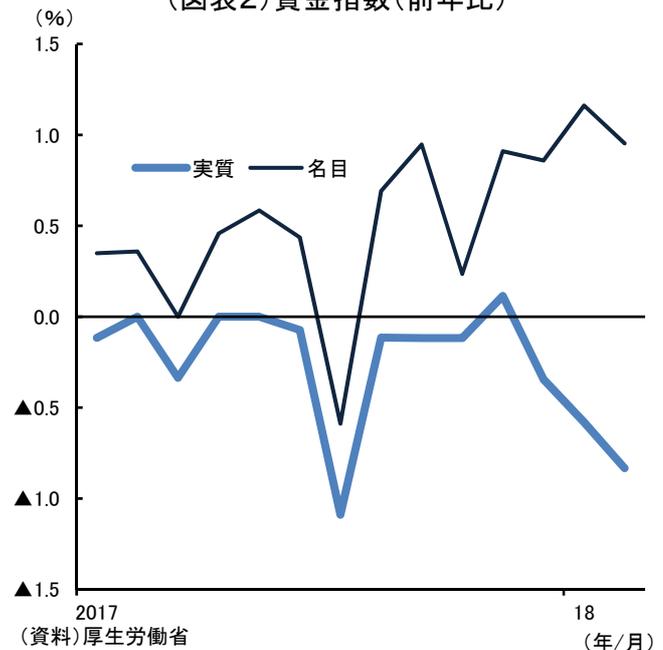
(注1) 家計部門=民間最終消費支出+民間住宅。

(注2) 企業部門=民間企業設備+民間在庫変動。

(注3) 官公需=政府最終消費支出+公的固定資本形成+公的在庫変動。

(注4) 外需=輸出-輸入。

(図表2) 賃金指数(前年比)



(資料) 厚生労働省

【ご照会先】 調査部 研究員 根本 寛之 (nemoto.hiroyuki@jri.co.jp, 03-6833-8913)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

GDP統計予測表(2018年4月27日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

	実質GDP														名目GDP	デフレーター
	内需								外需							
	民間				官公需				輸出		輸入					
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫									
2016/ 10 ~ 12	0.3	▲ 0.1	0.1	0.0	0.8	1.5	▲ 1286.7	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 1.9	▲ 65.2	1704.9	2.7	0.6	0.2	▲ 0.0
2017/ 1 ~ 3	0.5	0.4	0.5	0.3	1.2	0.2	773.6	0.1	0.1	▲ 0.2	83.1	185.6	2.0	1.7	0.3	▲ 0.2
4 ~ 6	0.6	0.9	0.8	0.9	0.9	1.2	▲ 681.0	1.1	0.2	4.8	59.6	▲ 1704.4	0.0	1.9	0.9	0.3
7 ~ 9	0.6	0.1	0.3	▲ 0.6	▲ 1.7	1.0	2417.8	▲ 0.5	0.1	▲ 2.6	▲ 17.0	2986.7	2.1	▲ 1.2	0.7	0.1
10 ~ 12	0.4	0.4	0.6	0.5	▲ 2.6	1.0	428.2	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 6.8	▲ 412.4	2.4	2.9	0.3	▲ 0.1
2018/ 1 ~ 3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 3.2	0.2	▲ 274.0	0.1	0.1	0.0	▲ 40.6	▲ 133.9	▲ 0.3	▲ 0.1	0.1	0.2
■ 前期比年率 (%, 十億円)																
2016/ 10 ~ 12	1.1	▲ 0.4	0.2	0.2	3.2	6.2	—	▲ 2.2	▲ 0.7	▲ 7.4	—	—	11.0	2.4	1.0	▲ 0.1
2017/ 1 ~ 3	1.9	1.7	2.1	1.3	4.8	0.7	—	0.6	0.6	▲ 7.4	—	—	8.1	7.1	1.1	▲ 0.8
4 ~ 6	2.4	3.6	3.2	3.7	3.8	4.9	—	4.7	0.9	20.5	—	—	0.1	7.9	3.6	1.2
7 ~ 9	2.4	0.3	1.1	▲ 2.6	▲ 6.6	4.2	—	▲ 1.9	0.2	▲ 9.8	—	—	8.8	▲ 4.7	2.7	0.4
10 ~ 12	1.6	1.8	2.4	2.1	▲ 10.1	4.2	—	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.8	—	—	10.1	12.0	1.1	▲ 0.5
2018/ 1 ~ 3	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.5	0.2	▲ 12.2	0.8	—	0.3	0.5	0.1	—	—	▲ 1.0	▲ 0.4	0.5	1.0
■ 前年同期比 (%, 十億円)																
2016/ 10 ~ 12	1.5	0.4	0.5	0.6	6.8	1.7	▲ 519.0	0.1	0.2	0.0	▲ 30.3	1363.0	4.8	▲ 1.6	1.4	▲ 0.1
2017/ 1 ~ 3	1.4	0.5	0.8	0.8	6.5	1.8	▲ 425.0	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 29.2	1057.6	6.7	1.5	0.6	▲ 0.8
4 ~ 6	1.5	1.1	1.1	1.8	5.7	2.9	▲ 1017.8	1.1	0.6	3.7	6.5	423.4	6.8	4.5	1.2	▲ 0.3
7 ~ 9	1.9	1.3	1.6	0.6	1.4	3.8	302.8	0.3	0.2	0.3	14.4	819.9	6.9	2.8	2.1	0.2
10 ~ 12	2.0	1.8	2.2	1.1	▲ 2.4	3.5	789.1	0.7	0.4	1.3	34.6	237.4	6.8	5.5	2.1	0.1
2018/ 1 ~ 3	1.5	1.4	1.7	0.9	▲ 6.6	3.5	463.8	0.8	0.4	2.1	▲ 4.8	175.9	4.4	3.5	2.1	0.1
■ 前期比・寄与度 (%, %ポイント)																
2016/ 10 ~ 12	0.3	▲ 0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.0	0.4	0.5	▲ 0.1	—	—
2017/ 1 ~ 3	0.5	0.4	0.4	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	▲ 0.3	—	—
4 ~ 6	0.6	0.9	0.6	0.5	0.0	0.2	▲ 0.1	0.3	0.0	0.2	0.0	▲ 0.3	0.0	▲ 0.3	—	—
7 ~ 9	0.6	0.1	0.2	▲ 0.4	▲ 0.1	0.2	0.4	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.0	0.5	0.4	0.2	—	—
10 ~ 12	0.4	0.4	0.4	0.3	▲ 0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	▲ 0.4	—	—
2018/ 1 ~ 3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	—	—
■ 前期比年率・寄与度 (%, %ポイント)																
2016/ 10 ~ 12	1.1	▲ 0.3	0.2	0.1	0.1	0.9	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.4	0.0	1.4	1.9	▲ 0.4	—	—
2017/ 1 ~ 3	1.9	1.7	1.5	0.7	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	1.3	▲ 1.0	—	—
4 ~ 6	2.4	3.5	2.4	2.0	0.1	0.7	▲ 0.5	1.1	0.2	0.9	0.0	▲ 1.2	0.0	▲ 1.2	—	—
7 ~ 9	2.4	0.2	0.7	▲ 1.4	▲ 0.2	0.6	1.7	▲ 0.5	0.0	▲ 0.5	0.0	2.2	1.4	0.7	—	—
10 ~ 12	1.6	1.7	1.8	1.1	▲ 0.3	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	1.6	▲ 1.7	—	—
2018/ 1 ~ 3	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.4	0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.2	0.1	0.1	0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	—	—
■ 前年同期比・寄与度 (%, %ポイント)																
2016/ 7 ~ 9	0.9	0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	0.2	0.0	▲ 0.3	0.4	0.3	0.1	0.0	0.8	0.2	0.6	—	—
2017/ 1 ~ 3	1.4	0.5	0.7	0.5	0.2	0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	0.0	0.9	1.1	▲ 0.2	—	—
4 ~ 6	1.5	1.1	0.8	1.0	0.2	0.4	▲ 0.8	0.3	0.1	0.2	0.0	0.4	1.1	▲ 0.7	—	—
7 ~ 9	1.9	1.2	1.2	0.3	0.0	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	1.1	▲ 0.4	—	—
10 ~ 12	2.0	1.8	1.6	0.6	▲ 0.1	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	0.0	0.3	1.1	▲ 0.8	—	—
2018/ 1 ~ 3	1.5	1.4	1.3	0.5	▲ 0.2	0.6	0.3	0.2	0.1	0.1	▲ 0.0	0.1	0.8	▲ 0.6	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。